

- ・産前産後に上の子を預かって欲しい
- ・保育園、幼稚園、小学校、放課後児童クラブなどへの送迎をして欲しい
- ・保育施設などの保育の開始前、終了後の子どもを預かって欲しい
- ・自分が病院へ行きたいので預かって欲しい
- ・冠婚葬祭の間、子どもを預かって欲しい
- ・リフレッシュする時間が欲しい
- ・仕事と育児の両立のために、子どもを預かって欲しい etc…

こんな時はご利用ください

山県市 ファミリー・ サポート・ センター

ファミリー・サポート・センターは、子育てを手助けして欲しい人(依頼会員)の要望に応じて、子育てのお手伝いが可能な人(援助会員)を紹介し相互の信頼を了解の上で、一時的にお子さんを預かる相互援助活動の会員組織です。

利用する場合は事前に登録が必要で、会員登録は無料です。登録することで安心して利用できます。

○利用できる人

おおむね1歳～小学校6年生以下のお子さんを持つ市内に在住または勤務する人(病氣中などのお子さんは対象としません)

預かりは、原則として援助会員の家庭で行います。ただし、会員相互間において合意がある場合はこの限りではありません。

○利用料金

	時間帯	利用時間
平日	8時～17時	700円／1時間
	上記以外の時間	800円／1時間
土日祝日	8時～17時	900円／1時間
	上記以外の時間	1,000円／1時間

支援の必要な時間・原則として宿泊なし

○その他

・兄弟姉妹など複数のお子さんを預ける場合は2人目からは半額です。

・最初の1時間まではそれに満たない場合でも1時間とみなします。

・1時間を超える場合、30分以下は1時間当たりの金額の半額とし30分を超え1時間までは1時間とします。

・依頼会員が相互援助活動の実施を取り消した場合は、次のとおりです。

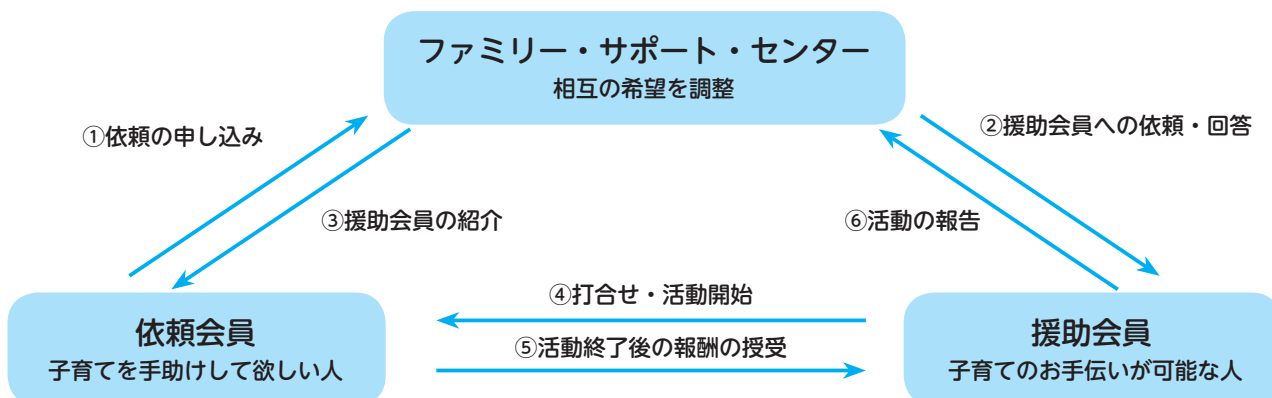
ア 前日までの取消…無料

イ 当日取消…上記基準により算定された報酬額の半額

ウ 無断取消…全額

詳しくは問い合わせてください。

ファミリー・サポート・センターの仕組み



岡子育て支援センター(子どもげんきはうす内) TEL23-2323

受付時間 8時30分～17時15分(火～金曜日) 随時援助会員も募集しています。

特定非営利活動法人たかとみスポーツクラブ創立15周年記念事業
山県市総合体育館開館20周年記念

スポーツチャレンジフェスティバル

平成28年5月3日(火) 9時開会

場 所 山県市総合体育館 〒501-2113
山県市高木1675

記録会 (エントリー方式)

※事前のエントリーが必要です。

種目

ビーチフラッグ

跳び箱(最高20段)

綱引き(1対1)

フリーアトラクション (自由参加)

種目

キックターゲット

バンジートランポリン

ナインゴール

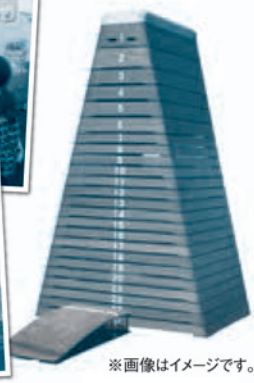
山県市地域物産店・お楽しみ抽選会

問合せ先／山県市総合体育館

TEL 0581-22-6622 FAX 0581-23-0022

E-mail yamagata-arena@ccn.aitai.ne.jp

入場
無料



※画像はイメージです。

※詳細は4月3日新聞折込小中学校配布チラシをご覧ください。エントリー用紙はチラシ裏面にございます。

主催／NPO法人たかとみスポーツクラブ
後援／山県市、山県市教育委員会、山県市体育協会

春の全国交通安全運動

4月6日(水)～15日(金)

問総務課 TEL22-6820

運動の基本 子どもと高齢者の交通事故防止

運動の重点

- ・自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)
- ・後部座席を含めたすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶

暖かい陽気に誘われて、外出する機会が多くなる時期です。交通事故の発生が懸念されます。自転車乗車中の事故が多発していますので、自転車安全利用の五則を守り事故防止に心掛けましょう。

自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
4. 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用

ダイヤル 119

問消防本部 TEL22-0119

火災発生時の行動…3原則

4月に入っても寒い日あり、家庭や職場で暖房器具など火を使用する機会があります。万一火災が発生した場合は次の3原則を行ってください。

1. 大声で「火事だ！」

家族や隣近所に「火事だ」「119番して」と大声で伝え、応援を頼みましょう。世間体を気にして一人で消そうとしては絶対にダメ。

2. すばやく3分初期消火

消火できる限度は出火から3分以内。初期の段階では消火器による消火が有効です。台所や寝室など各家庭で必要な場所に設置しましょう。

3. 煙から逃げろ！

火が天井に達したり、部屋中に煙が増えてきた場合は、消火をあきらめ煙を吸い込まないよう素早く避難してください。また、逃げる時は、部屋の窓やドアを閉めると空気が断たれて延焼しにくくなります。

※寝ている間に出火に気づかず、煙にまかれて亡くなる人があつと断ちません。寝室・階段には住宅用火災警報器を設置しましょう。